



## RETURNIL(リターニル)2011使い方・設定 1/2頁

■トップページ > PC・インターネット関係メニュー > RETURNILの紹介 > 2011説明1 2011説明2 ■管理者へメール

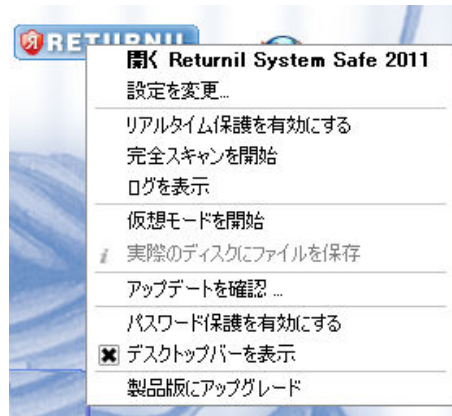
[□RETURNIL\(リターニル\)の紹介はこちら](#) [□RETURNIL2010の説明はこちら](#) [□よくある質問Q&Aはこちら](#)

### RETURNIL(リターニル)2011の基本的な使い方

RETURNILがインストールされていると、下図のようなデスクトップバーかトレイアイコンにトレードマークの逆Rのアイコンが表示されます。(設定により表示・非表示変更可能)



上図のデスクトップバーかタスクトレイのアイコンを右クリックしてみてください。メニューが表示されます。



#### ○開くRSS

メイン(HOME)画面を開きます。

#### ○設定を変更

環境設定画面を開きます開きます。

#### ○リアルタイム保護・・・

定義ファイル参照式のウイルス対策が有効になります。  
(有効時は停止のスイッチ)

#### ○完全スキャン

定義ファイル式のウイルススキャンを開始します。

#### ○仮想モードを開始

仮想モード保護を開始します。(仮想モード保護時は仮想モード化を停止「再起動」のスイッチ。)  
仮想モード保護が有効になると、システムドライブへの変更が再起動後全て無効になりシステムが保護されます。

#### ○アップデートを確認

ウイルス定義ファイルのアップデートを行います。

#### ○パスワード保護を有効にする

パスワードにより設定変更等を制限します。

#### ○デスクトップバーを表示

X印でデスクトップに



のようなバーが表示されます。

動作状況や設定によって



のように色違いで表示されます。

黄色いアイコンのバー



が表示された時は注意が必要です。

## ○製品版にアップグレード

有料版にアップグレードします。(ファイルマネージャーやシステムの復元機能等が使えるようになります)

## RETURNIL(リターニル)2011の設定方法

インストール直前にシステムドライブ(Cドライブ)のデフラグを実行してください。

RETURNIL仮想モード保護を有効にしてる時はデフラグを行わないでください。(自動デフラグを使っている場合は無効にしましょう)

では以下はインストールが済んだ状態での設定の説明です。

日本語で表示されてない場合は環境設定で変更できます。

システムトレイアイコンかデスクトップバーをクリックしてメイン画面(HOME)を開きます。



RETURNILの概況が表示されます。

## ○仮想モードを開始

仮想モード保護をスタートします。(開始の表示が出る時は仮想モードに入っていない事を示します)

## ○リアルタイム保護

## ○仮想モード

仮想モード保護が有効か停止してるかを表示しています。

## ○システム復元

有料版のみ使用できます。 同じく有効になってるか停止してるか表示しています。

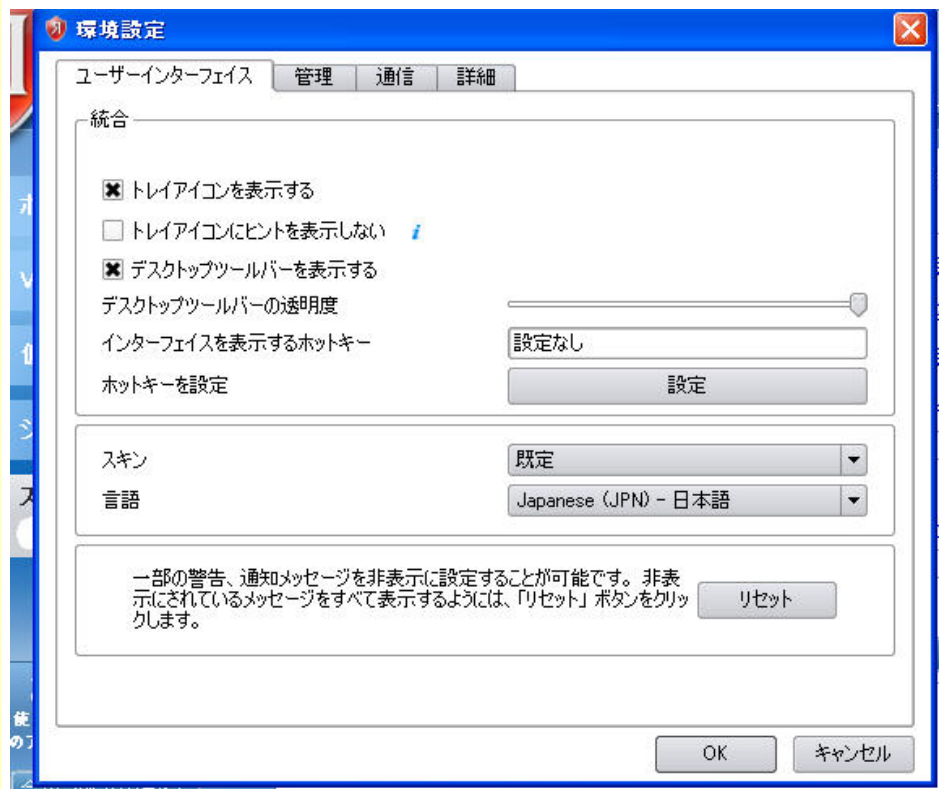
## ○メッセージ

RETURNILからのメッセージ件数を表示してます。未読がある場合確認してください。

## ○有効期限

ライセンスの有効期限を表示しています。

次に上の「環境設定」を開きます。ユーザーインターフェイスタブを開きます。



## ○トレイアイコンを表示する

タスクトレイにアイコンを表示するかどうかの設定。

## ○デスクトップツールバーを表示する

デスクトップバーを表示するかどうかの設定。  
表示したツールバーは透過表示にできます。その透明度はスライダーで変更してください。

## ○インターフェイスを表示するホットキー

RETURNILのメイン画面を呼び出すショートカットキー(ホットキー)の設定です。

## ○スキン

表示スキンの変更。既定しかなければ選択できません。

## ○言語

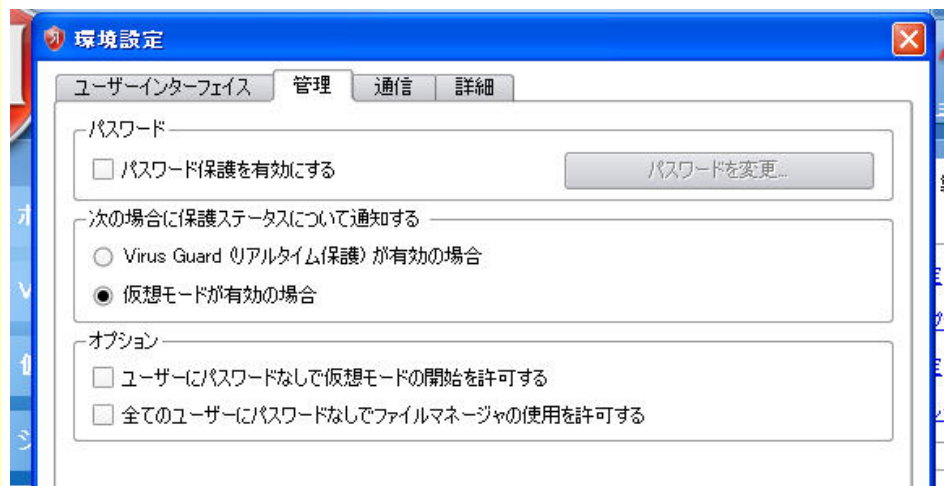
操作する上でのUIの言語を設定します。

初期設定の英語から日本語にする場合はpreferences(設定) の admin(管理)でこの画面に入り日本語を選択します。

## ○警告メッセージの非表示リセット

警告メッセー等で非表示設定をした場合、それを「リセット」で元に戻します。

次に「管理」タブを開きます。



## ○パスワード保護を有効にする。

パスワードにより、設定や動作変更の制限を加える場合に設定します。

せっかくのセキュリティソフトを第三者によって設定変更できないようにするというのもセキュリティのひとつですね。

## ○次の場合に保護ステータスについて通知する。

アイコンやデスクトップバーの表示色変更ができます。



基本はこの緑(有効)赤(無効)の使い分けです。

ウイルスガード(リアルタイム)保護の有効無効に対して 緑・赤の表示をするか

仮想モード保護に対して有効・停止に対して 緑・赤の表示をするか

どちらかを選択します。(色の考え方が2010と逆になってます)

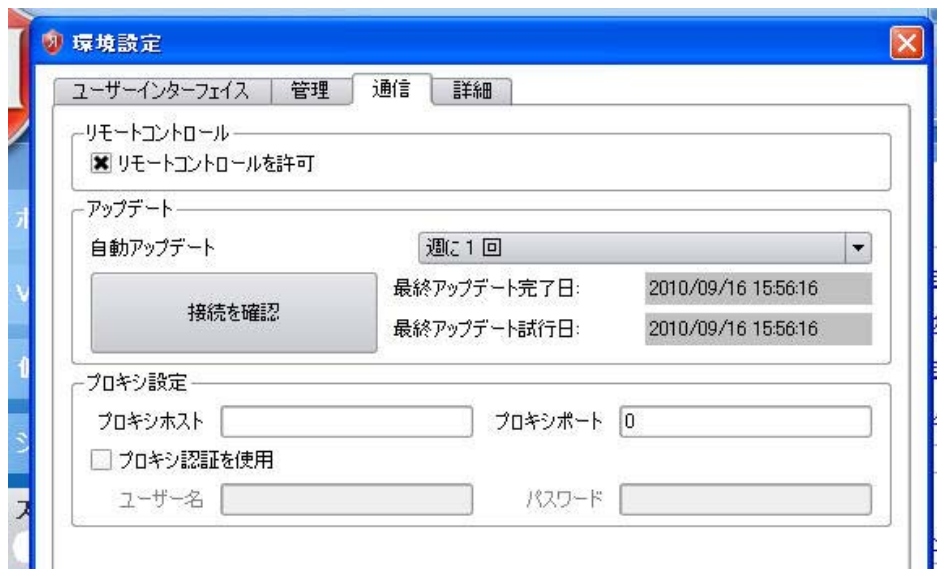
仮想モードをメインに使う人は「仮想モードが有効な場合」の設定を推奨。

## ○オプション

パスワード制限をしてる時でもパスワードを知らない人が仮想モードへの移行を許可する設定。

同じくファイルマネージャー(有料版のみ)の使用を許可するかどうかの設定。

次に「通信」タブを開きます。



### ○リモートコントロールを許可

= 未解説 =

### ○アップデート

ウイルス定義ファイル等の更新間隔を設定できます。

### ○接続を確認

定義ファイル更新サーバーへ接続できるかどうか試験できます。

### ○プロキシ設定

自動アップデートの通信にプロキシを使用したい場合設定します。

次に「詳細」タブを開きます。



### ○自己保護を有効にする

RETURNIL本体への変更を抑止してと思われますが詳細不明。

### ○セーフモードで起動しない

セーフモードで起動する意味を考えれば通常は起動しないの設定で良いかと思います。  
セーフモード上でRETURNILのウイルススキャンを行う場合はX印を外してみましょう。

▲一番上に戻る▲ ▼使い方設定2頁へ移動▼

制作:2010 最終更新:2010

-Web Site Copains(コパン)-